

新年のご挨拶



玩具人形健康保険組合
理事長 金林 健史

あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族の皆さんにおかれましては、健やかに新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。また、平素より当健康保険組合の事業運営に対して多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、健康保険組合を取り巻く情勢を見ると、昨年はすべての団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」に直面した年でした。日本の総人口の5人に1人が後期高齢者という日本では、高齢者への拠出金の増加によって健保財政が今後ますますひっ迫することが予想されます。同時に、高齢者の医療費を支える現役世代の負担軽減についても、対策に注力していかなければなりません。これは超高齢社会であると同時に少子社会である日本において、喫緊の課題となっています。

今年はマイナ保険証に完全移行して迎える最初の年となります。昨年12月1日に猶予期間が終了し、従来の健康保険証は役目を終えました。マイナ保険証は、過去の診療情報のスムーズな医師との共有や、救急搬送時における正確な診療情報の把握を可能とするなど、よりよい医療を効率的に受けられるメリットがあり、その利便性は今後も高まっていくものと思われます。

また、本年4月からは子どもや子育て世帯を全世代が支える「子ども・子育て支援金」がスタートします。少子化対策を促進するための取組みについてのご理解・ご協力をお願いします。

今年も当健康保険組合は各種保健事業を展開し、皆さまの健康をサポートしてまいりますので、引き続き健康維持にご留意いただきますようお願い申し上げます。

今年は年明けからミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック、2026ワールドベースボールクラシック、FIFAワールドカップ2026と、世界規模の大会が立て続けに開催され、スポーツの機運が高まる年となります。ぜひ皆さんも体を動かすことに関心を持って、健康づくりに努めていただければ幸いです。

結びに、皆さまの本年のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。